

工業高校生を対象

埼玉組 太陽光の講習開催支援

埼玉県電気工事工業組合(沼尻芳治理事長)は、昨年度に続き2月15日、さいたま市、さいたま商工会議所からの依頼を受けて「地域技術人材育成・高度化支援事業」として市内の工業高校生を対象にした「太陽光発電設置講習」を埼玉電気会館で

和工業高校11人、県立大宮工業高校14人の生徒と教育者の立場から施工技術の習得を目的に県立大宮工業高校の建築科担任教諭1名の計26人が生徒として参加した。

生徒は、学科で①市場の動向②助成制度③太陽光発電システムの基礎知識④施工時の注意点

講習の締めくくりとして、今回の講習における習熟度の確認のためアンケート調査を実施。その結果、多くの生徒が理解を深めており、生徒にとって貴重な体験学習となった。



学科で市場動向などを学んだ



太陽光発電設備の据付実習

なお、この「地域技術人材育成事業」は、さいたま市とさいたま商工会議所が、市内の各企業と工業高校との連携により、市内のものづくり企業における後継者不足の解消や優秀な人材の確保を目的とするともに、現場レベルの技術を体験することで、生徒の意識向上につながり、即戦力となり得る人材育成を図るため積極的に推進している。

県立川口工業高等学校(長谷川仁校長)は、2月14日・15日の2日間、午前9時から午前12時までの3時間にわたり、2階実習室において、埼玉県が「魅力ある高等学校づくり」の一環として実施している「プロフェッショナルに学ぶ」事業の授業を行い、電気科の生徒78人が、低圧屋内配線工事を指定された材料や工具を使用し施工に取り組んだ。埼玉県電気工事工業組合(沼尻芳治理事長)から、戸口昌志指導教育委員長(川越支部長)と伊古田昌幸副委員

川口工業高校に講師派遣 プロフェッショナルに学ぶ

長(川口支部)を講師として派遣した。この事業は、社会人講師の指導を受けて、生徒が高度な電気工事技術を学び、身につけるために毎年実施しており、今年で11年目となる。

先生方の合図により、実習が開始され、2人の講師は、各テーブルを見回り、生徒に施工における注意点をアドバイスを行った。生徒は、講師のアドバイスをよく聞き、一生懸命に取り組んだ。



講評を述べる戸口委員長



指導する戸口委員長(左)、伊古田副委員長(右)

授業終了後に、戸口委員長、伊古田副委員長が講評を行い、授業を受けた生徒代表から講師を務めた2氏に対してお礼の言葉が述べられた。